

# 水害時の衛生対策と消毒方法

台風や集中豪雨等により家屋が浸水した場合、細菌やカビが繁殖しやすくなり、感染症等のリスクが高まります。感染症予防のためには衛生対策（清掃・乾燥・消毒）が大切です。



## 衛生対策三か条

1. 清掃、2. 乾燥、3. 消毒

感染症予防のためには清掃と乾燥が重要です。  
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません。

### 作業時の服装

- ゴーグル
  - マスク
  - 丈夫な手袋
  - 底の厚い靴
- 土ほこりから  
目や口を保護するため  
清掃中のけが及び  
感染を予防するため



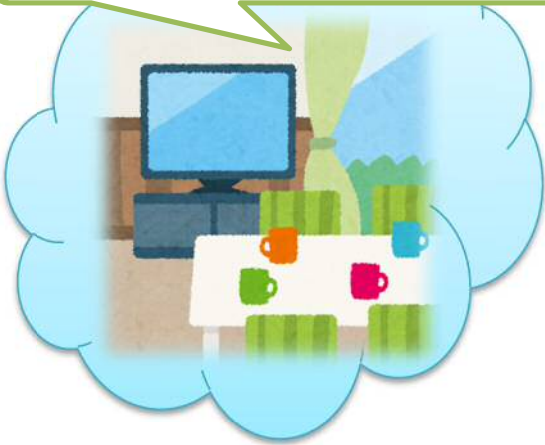
### ※作業時の注意事項

- ドアと窓をあけて、しっかり換気しましょう
- 作業が終わったら流水で手を洗いましょう
- けがをした場合は流水で洗浄し、消毒しましょう
- 深い傷ができた、傷に異物が入った、目を洗浄しても充血する場合等は医師に相談しましょう

具体的な清掃・乾燥・消毒方法はこちらから！

# 清掃・乾燥について

## ①床上浸水の場合



## ②床下浸水の場合



家屋等が浸水した場合、次のとおり清掃及び乾燥を行います。

### ①床上浸水の場合

室内は、食事や睡眠等生活を行う場所のため、泥や汚れを十分に取り除いた後、消毒を行いましょう。

- 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けます。
- 汚れた家具や床・壁等は、水で洗い流すか、雑巾で水拭き等を行います。
- 食器類や調理器具等は、水洗いして汚れをきれいに洗い流します。

**※清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません。**

### ②床下浸水の場合（家の周囲含む）

土砂等を取り除いた後、水で洗い流し、しっかり乾かすことが重要です。床下に流れ込んだ土砂や水分が残っている場合、その湿気により、家の基礎や土台（床組）等に影響が出る場合があります。



- 汚泥や不要なもの等を片付けます。
- 庭木や外壁についた泥は、水で十分に洗い流します。
- 床下換気口のごみを取り除き、床下の風通しを良くします。
- 床下はスコップや流水を用いて汚泥を取り除いた後、雑巾等で水気をなくし、扇風機等により強制的に換気し、乾燥させます。

**※床下や庭等の消毒は原則不要です。**

# 消毒方法について

消毒薬は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあります。使用は必要最小限としましょう。また、使用の際には、換気を十分に行うよう注意してください。

## 〈食器類・家具類・床の消毒方法〉

消毒薬 (消毒方法)	食器類・流し台・浴槽 	家具類・床 
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	0.02%に希釈 ①食器用洗剤と水で洗う。 ②調整した液に5分間漬けるか、調整した液を含ませた布で拭く。 その後、水洗い・水拭きをする。 ③よく乾燥させる。	0.1%に希釈 ①泥等の汚れを洗い流すか、雑巾等で水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布でよく拭く。 ※金属面や木面等色褪せが気になる箇所は水で二度拭きする。
10%塩化ベンザルコニウム (逆性せっけん)	0.1%に希釈 ①泥等の汚れを洗い流すか、雑巾等で水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布でよく拭く。	0.1%に希釈 ①泥等の汚れを洗い流すか、雑巾等で水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布等でよく拭く。
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用 ①食器用洗剤と水で洗う。 ②アルコールを浸した布でよく拭く。	希釈せず、原液のまま使用 ①泥等の汚れを洗い流すか、雑巾等で水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②アルコールを浸した布でよく拭く。
熱湯消毒	食器の消毒 ①食器用洗剤と水で洗う。 ②80℃以上の熱湯に10分間漬ける。	—

- 次亜塩素酸ナトリウム  
：汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合に使います。
- 塩化ベンザルコニウム、消毒用アルコール、熱湯  
：次亜塩素酸ナトリウムによる色褪せ、腐食等を避けるため次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使います。

## 〈手指の消毒方法〉

消毒薬	消毒対象	使用方法
消毒用アルコール	手指	希釈せず、原液のまま使用 ①汚れを石けんで洗い、流水で流す。 ②清潔なタオル等で手指を乾燥させた後、アルコールで消毒する。



## 〈消毒薬使用時の注意点〉

- 消毒薬を取り扱う際には、ゴム手袋等を使用するとともに、皮膚や目にかからないように注意しましょう。また、皮膚についた場合は大量の水で洗い流しましょう。目に入った場合は大量の水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 誤飲事故につながることもあるため、消毒液をペットボトル等へ移し替えないでください。また、調整した液は必ず使い切り、他の薬剤と混ぜないようにしましょう。
- 消毒液の入っていたバケツ等は、使用後に十分な水で洗い流しましょう。

## 〈消毒薬の希釈方法〉

### 0.1%希釈の簡単な方法

#### 【6%消毒液を使用する場合】

バケツ（10L）に  
紙コップ約1.5杯（160cc）を入れ、  
バケツへ水を入れ、全量 10Lにする。

#### 【10%消毒液を使用する場合】

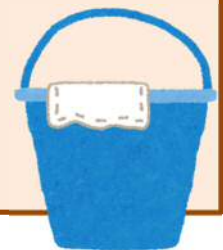
バケツ（10L）に  
紙コップ1杯（100cc）を入れ、  
バケツへ水を入れ、全量 10Lにする。

### 0.02%希釈の簡単な方法

#### 【6%消毒液を使用する場合】

バケツ（10L）に紙コップ1/3杯  
（30cc）を入れ、  
バケツへ水を入れ、全量 10Lにする。

一般的に市販されている  
家庭用塩素系漂白剤の  
塩素濃度は5～6%



## その他、感染症の予防について

- 受水槽は、水槽の亀裂等による有害物、汚水等の混入がないか点検し、安全であることを確認してから使用します。
- 井戸水は、水質検査を実施し、安全であることを確認してから使用します。
- からだに異常を感じたら早めに医療機関で受診しましょう。



保健所生活衛生課：053-453-6112  
保健所浜北支所：053-585-1398